



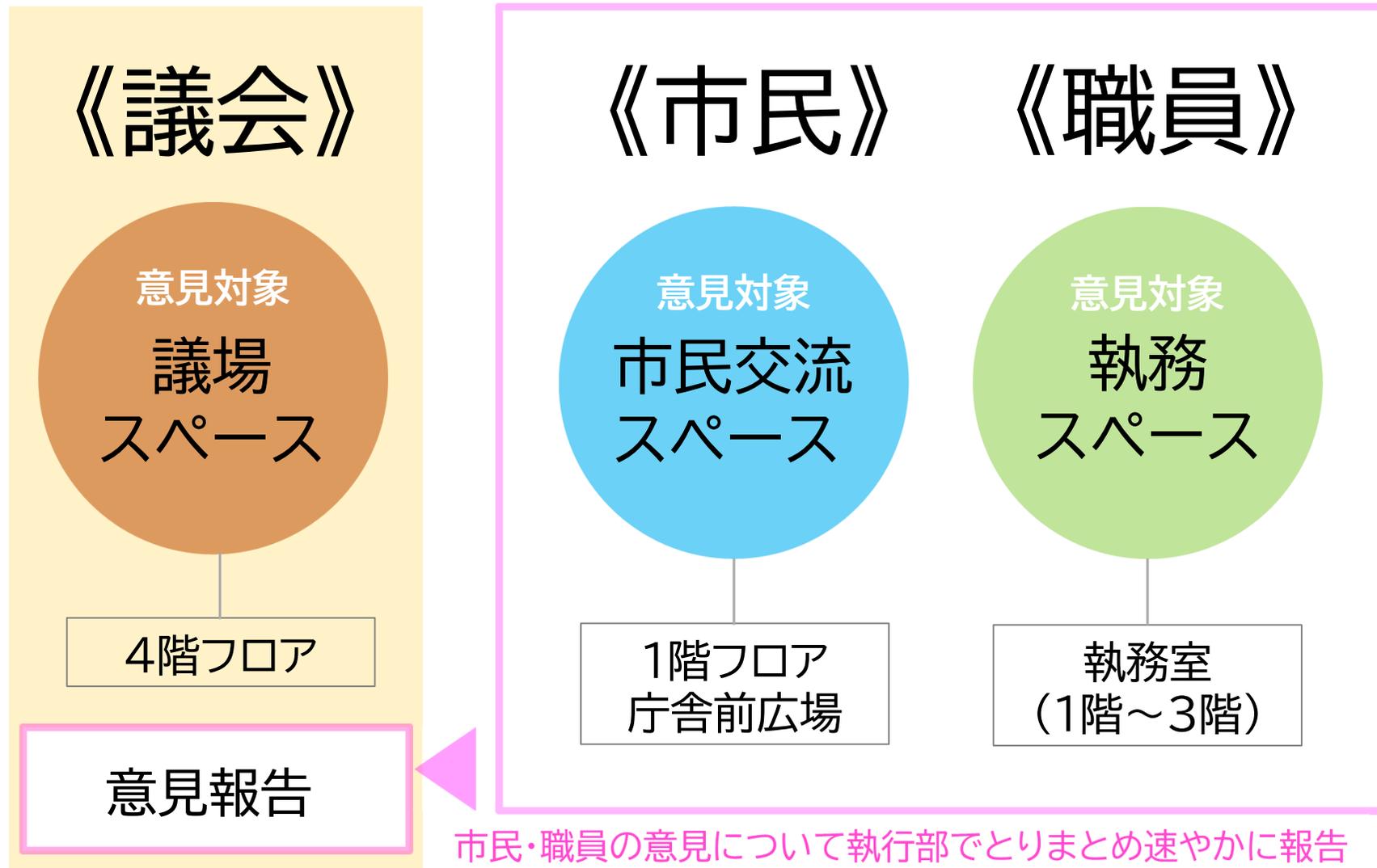
新庁舎整備に関する意見聴取について

～ 市民の暮らしを守る防災拠点整備の推進のために ～

意見聴取の対象

- 意見聴取の主な対象と今後のながれは以下のとおりです。

意見対象として主に議場スペースについて意見照会をお願いし、市民に開かれた議場を目指します。



- 庁舎整備基本計画(令和7年3月策定)のP32・P33で、フロアの配置方針を定めています。

湖南省庁舎整備基本計画

令和7年3月策定

【抜粋】

- ・新庁舎のゾーニング

(2) 新庁舎のゾーニング

①各課の配置方針

○行政機能の集約

- ・現在、行政機能は東庁舎のほか、上下水道棟、サンライフ甲西、保健センター、西庁舎、石部保健センターに分散されています。市民サービスの利便性向上や庁内連携の向上を図るため、これらの行政機能は新庁舎へ集約します。

◇東庁舎に配置されている行政機能（令和6（2024）年現在）

4 階	<議会事務局> 議事課 <監査委員事務局>
3 階	<総合政策部> 秘書広報課 <総務部> 総務課、財政課、行財政改革推進課
2 階	<都市建設部> 土木建設課、都市政策課、住宅課 <環境経済部> 環境政策課、農林振興課・農業委員会 <総合政策部> 人事課、地域創生推進課、文化スポーツ課、 危機管理・防災課
1 階	<出納局> 会計課 <市民生活局> 税務課、収納課、人権擁護課、市民課 <健康福祉部> 福祉政策課、障がい福祉課、保険年金課

新
庁
舎
へ
集
約

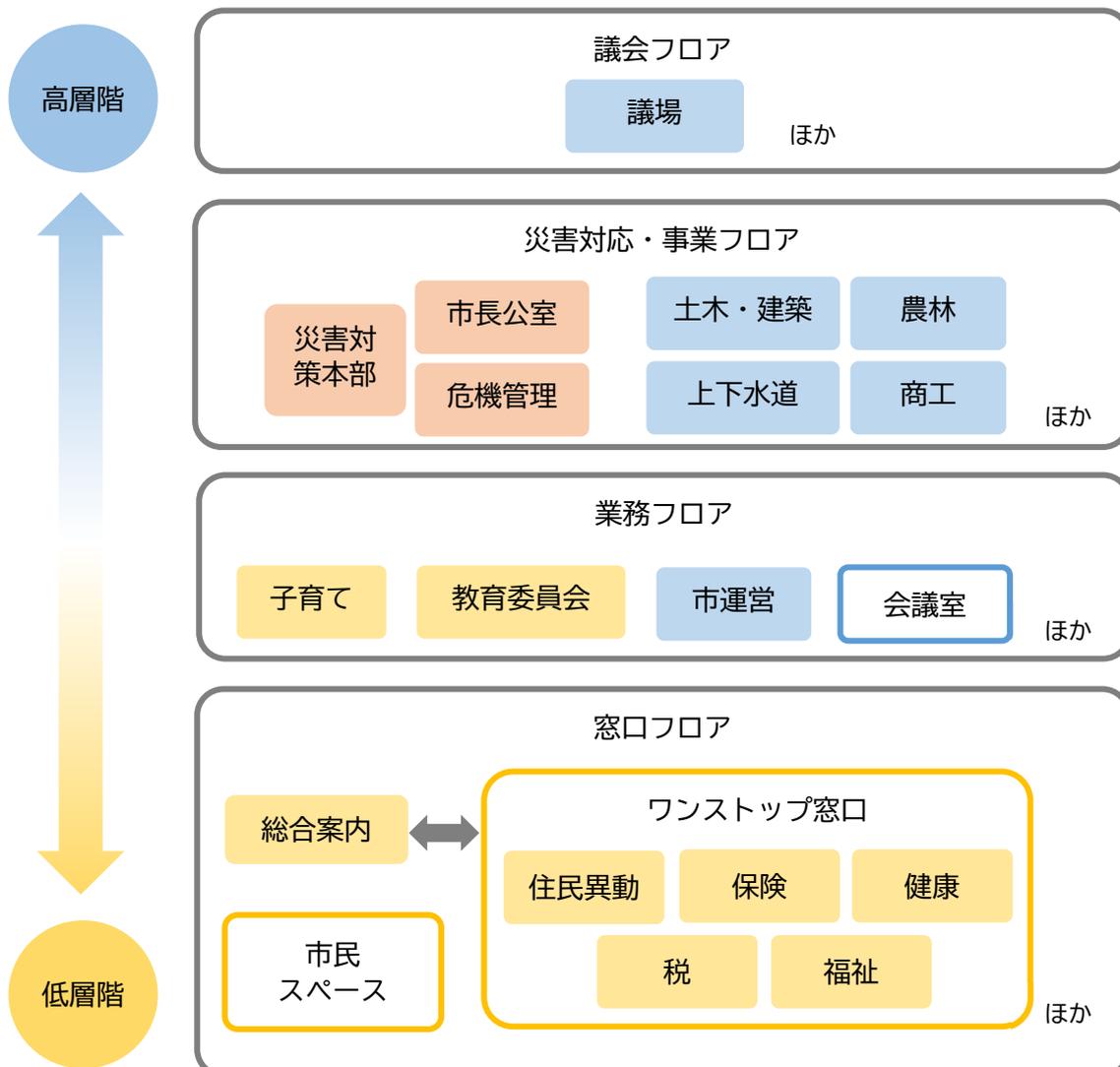
◇分散されている行政機能（令和6（2024）年現在）

上下水道棟	<上下水道事業所> 上下水道課
サンライフ甲西	<環境経済部> 商工観光労政課
保健センター	<地域包括ケア推進局> 高齢福祉課、健康政策課、地域医療推進課
西庁舎	<市民生活局> 市民課分室
	<教育委員会教育部> 教育総務課、学校教育課、教育支援課
石部保健センター	<こども未来応援部> 幼児施設課、こども子育て応援課、子ども政策課 <健康福祉部> 発達支援室

○各課の配置方針

・庁舎整備の基本方針に基づき、各課の配置方針を設定します。

基本方針	各課の配置方針
市民サービスの利便性に配慮した小規模多機能自治にふさわしい庁舎	市民の利用頻度が高い窓口や高齢者・子育て世代が利用する窓口機能は低層階に配置し、1階はワンストップ窓口化により利便性を高めます。
市民の安全・安心な暮らしを支える防災性の高い施設	災害対応部署はできるだけ同じフロアに配置し、災害対応時の動線短縮や情報共有を円滑に行えるようにします。
社会情勢の変化に対応できる長寿命で柔軟性の高い施設	市民の利用頻度が低い課は中層階～高層階に配置し、柔軟性の高い利用ができる会議室を2階、議場を最上階に配置し、それぞれの十分なスペースを確保できるようにします。



- 既存の実施設計を策定するためのデザインや機能の方向性を定めたものが基本設計です。

湖南省複合庁舎整備 基本設計説明書

平成30年12月策定

【抜粋】

- ・議場計画
- ・平面計画
- ・防災・避難計画
- ・セキュリティ計画

3. 建築計画

3-12. 議場計画

- ・議場計画をするにあたり、床形式や家具のレイアウト、傍聴席のレイアウトについての比較検討を行いました。
- ・湖南市及び議会の要望により、以下採用案の計画とします。

■フラット床と段床の検証

- ・議場は想定される利用方法により、その形式が分かれますが、それぞれの形式の違いによるメリットとデメリットが発生します。

	フラット床	段床
断面イメージ		
サイトライン	確保しづらい	確保しやすい
デザイン	オープンな演出がしやすい	従来の議場に近い演出が可能
利便性	可動式家具を設置することで、議場以外の多目的利用が可能	段床となっているため、議場以外の利用が難しい

採用案

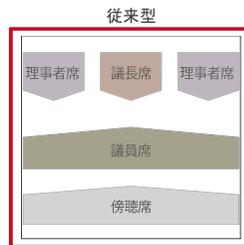
- ・天井高さについては、音響環境、重厚感の演出等を考慮すると、2層を利用し、6m程度の天井高さの確保が必要と考えられます。

	1層利用	2層利用
断面イメージ		
室内音響	室容積が少なく、明瞭度が確保しづらい	室容積が十分に取れ、明瞭度が確保しやすい

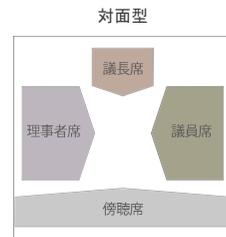
採用案

■議場家具レイアウト比較検証

- ・本会議をはじめ、住民参加の意見交換会や自由討論などの会議に対応する、議場家具レイアウト例があります。



採用案



■傍聴席のレイアウトパターン

- ・傍聴席の位置は議員席の後ろ側、断面的には議員、理事者よりも1段、もしくは1層上がった位置にある場合が多く見られます。



傍聴席が高い位置にある事例

採用案



傍聴席が議員席と同じ高さにある事例

■固定式議場と可動式議場の検証

- ・議場の形態には、従来の固定式家具を設置した固定式議場のほか、床に固定しない置き床家具を設置した半固定式議場としてのみならず多目的な利用が可能な可動式議場の3タイプが存在します。

	可動式議場 (家具にキャスター付)	半固定式議場 (家具にキャスターなし)	固定式議場
定数変更への対応	机・椅子の追加もしくは撤去にて対応可能。	机・椅子の追加もしくは撤去にて対応可能。	あらかじめ対応できるスペース等を考慮しておかないと後々の対応は困難。
発注方式の違い	備品発注。	備品発注。	大半は建築工事発注。
メリット	議場以外の利用が可能。	議場以外の利用が可能。将来的に可動式議場に転用可能。	段床にできるので視線を確保しやすい。
デメリット	収納スペースが必要。毛足の長いカーペットは不可。	収納スペースが必要。	議場以外の利用は難しい。

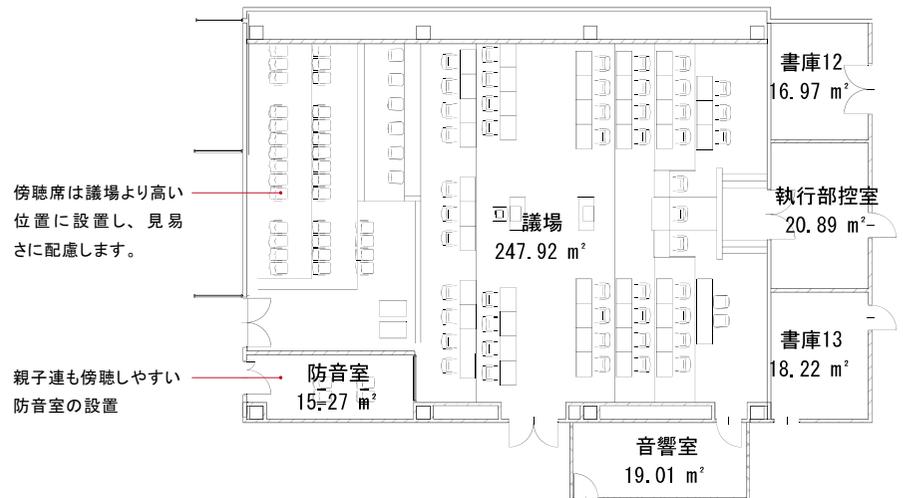
採用案

■収容人数

- ・議員席：18席、理事者席：27席

■内部計画

- ・机の配置は、議員と理事者（職員）が相対する直列配置（従来型）とします。
- ・議員席の床形式は、視線を確保しやすく議場としてのグレード感を演出しやすい段床型を採用します。
- ・天井高さは、十分に室容積を確保でき議場としての重圧感を演出できる高さ5.5mを確保します。
- ・傍聴席は議場階床レベル：700の高さとし、傍聴しやすい段床型とします。
- ・周囲の壁は、既存の議場と同じ遮蔽式とします。



【平面計画】

3. 建築計画

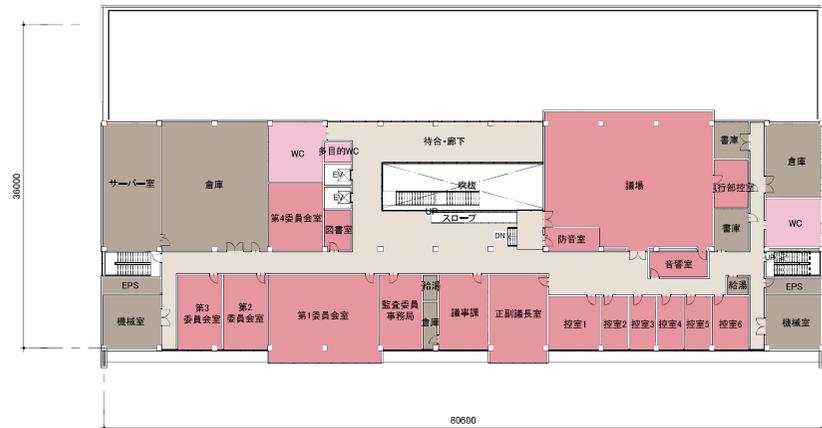
3-2. 平面計画



【凡例】：■ 共用部 ■ 執務室 ■ トイレ ■ バックヤード

【3階平面図】

執行部・行政窓口のフロア



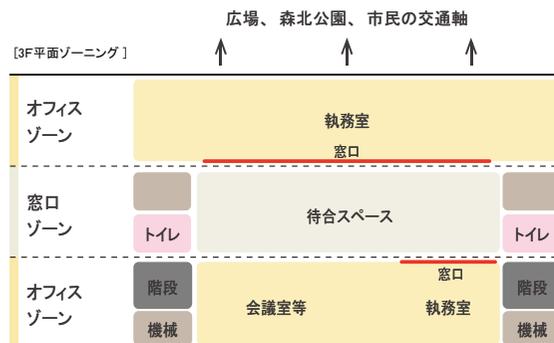
【凡例】：■ 共用部 ■ 議員スペース ■ トイレ ■ バックヤード

【4階平面図】

議場・議会フロア

■ 合理的なフロア計画 (3F)

- ・フロアの東西に階段やトイレ、機械室を集約し、中央に待合スペース、窓口、南北に執務室を配置した中廊下型のフロア計画とします。
- ・中央に吹抜を設けることで廊下の明るさと視認性を確保し、エレベーターから待ち合いスペース、窓口まで迷わずアクセスできる計画とします。
- ・待合スペースの東西に階段を配置することで、2方向に避難できる安全な計画とします。
- ・高齢者、障がい者に配慮した庁舎として3階、4階に多目的トイレを設けます。



■ 市民に開放された議場フロア (4F)

- ・4階は議場フロアとし、待合・廊下は休日にも市民に開放された施設とします。
- ・議事課は視認性が高く、来庁者がアクセスしやすい中央に配置します。

■ 委員会室

- ・委員会室は4室設け、用途に応じた適切な大きさを確保します。

■ 議場

- ・議場内の机配置は、議員と理事者（職員）が相対する直列配置（従来型）とします。
- ・周囲の壁は、既存の議場と同じ遮蔽式とします。
- ・市民に開かれた議場を目指し、低層階に議会の生中継モニターの設置や、議場に防音室を設け親子でも傍聴できる環境を整えます。

3. 建築計画

3-8. 防災・避難計画

■基本方針

- ・ 湖南省複合庁舎は、平常時に不特定多数の市民に利用される公共施設です。
- ・ 災害時において災害から利用者の生命、身体を守りその安全を確保、もしくは災害による被害を低減することを目的とします。
 - ① 建物の構造は鉄骨造、基礎免震とします。
 - ② 災害の起こりにくい耐震性・防火性の高い建物とします。
 - ③ 避難階は1階です。
 - ④ 建物は避難上、十分な空地を有しています。

■防火区画

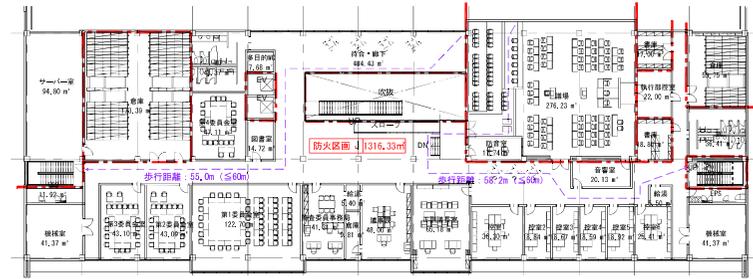
- ・ 耐火建築物であるため、原則、建築基準法施行令（以下「令」という）112条第1項に基づき1,500㎡区画とします。
- ・ EVシャフトと内部直通階段は縦穴区画を行い、北側及び中央の吹抜けを含むその他の箇所は面積区画とします。

■排煙設備

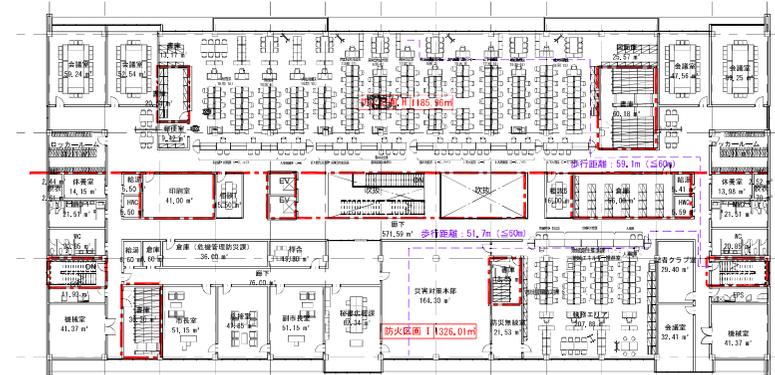
- ・ 令126条及び平成12年建設省告示1436号の排煙設備を免除される部分については自然排煙設備、必要に応じて機械排煙設備にて対応します。

■避難計画

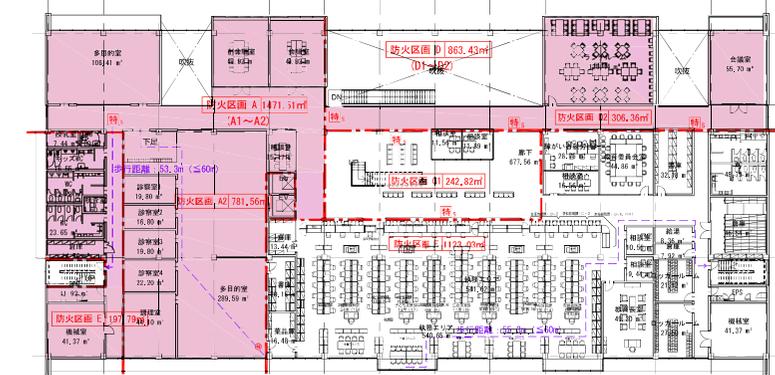
- ・ 避難階（1階）においては、階段から屋外への出口に至る歩行距離は60m以内とします。
- ・ 居室の各部分から屋外への出口に至る歩行距離は120m以内とします。
- ・ 避難階以外の階（2～4階）においては、避難階又は地上に通ずる直通階段を居室の各部分から歩行距離が60m以内となるように設けます。
- ・ また、居室の各部分から各直通階段に至る歩行経路のすべてに共通の重複区間があるときにおける当該重複区間の長さが30mを超えないよう設けます。



4階平面図 Scale=1/600

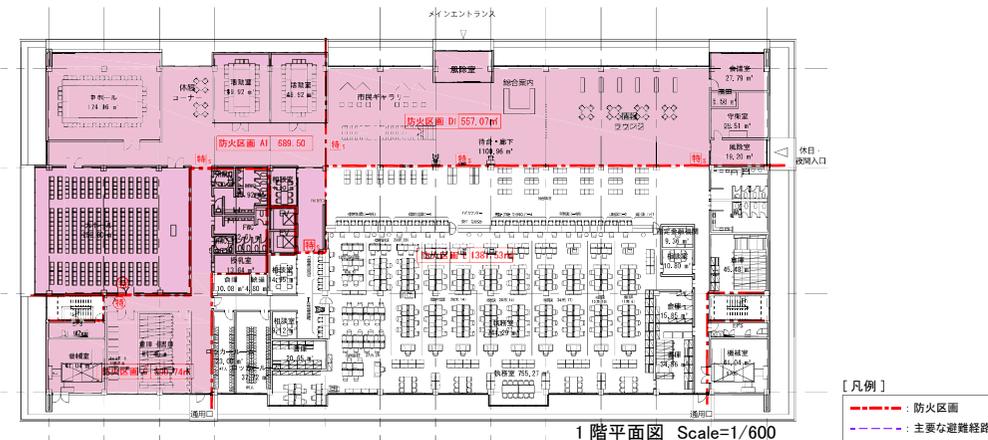


3階平面図 Scale=1/600



2階平面図 Scale=1/600

※各区画など防災計画は、諸官庁との協議により変更する場合があります。



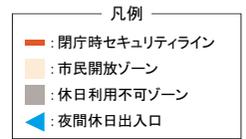
1階平面図 Scale=1/600

3. 建築計画

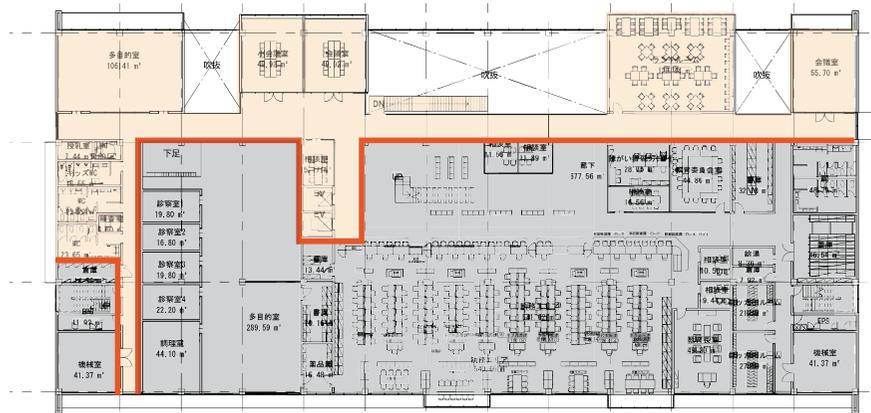
3-9. セキュリティ計画

- ・ 湖南省複合庁舎は、庁舎に加え、市民交流スペース、保健センターが複合された公共施設です。
- ・ 不特定多数の市民が様々な目的で利用する事が想定され、閉庁時の夜間、休日におけるセキュリティ計画を明確にし、管理・運営上も市民が容易に利用できる庁舎を計画とします。

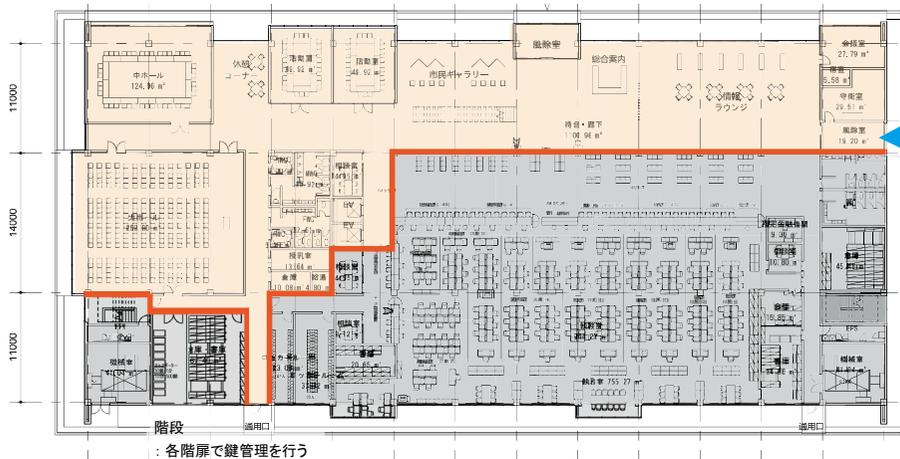
- ・ 1階：北側全面を市民交流ゾーンとして利用できる区画とします。
- ・ 2階：北側全面を利用できる区画とし、エレベーターと中央の階段を利用できる計画とします。
- ・ 3階：エレベーターを制御し、利用できない計画とします。
- ・ 4階：エレベーターの制御によって待合・廊下も利用可能な計画とします。
- ・ エレベーターは、停止階を制御できるようにします。



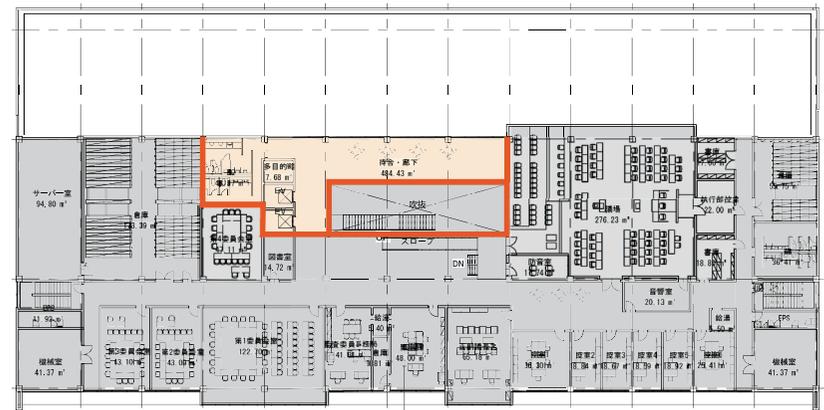
2階



1階

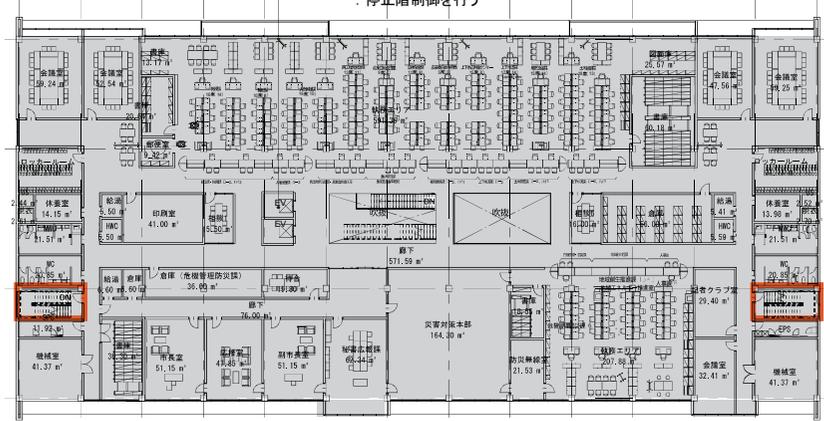


4階



各室毎に施錠にて管理する
議事課から目の届くエリアを必ず通過する計画

3階



- 既存の実施設計(基本計画含む)を最大限に活用し、令和8年度の新庁舎工事の着工を目指します。

湖南省複合庁舎整備 実施設計説明書

令和2年3月策定

【抜粋】

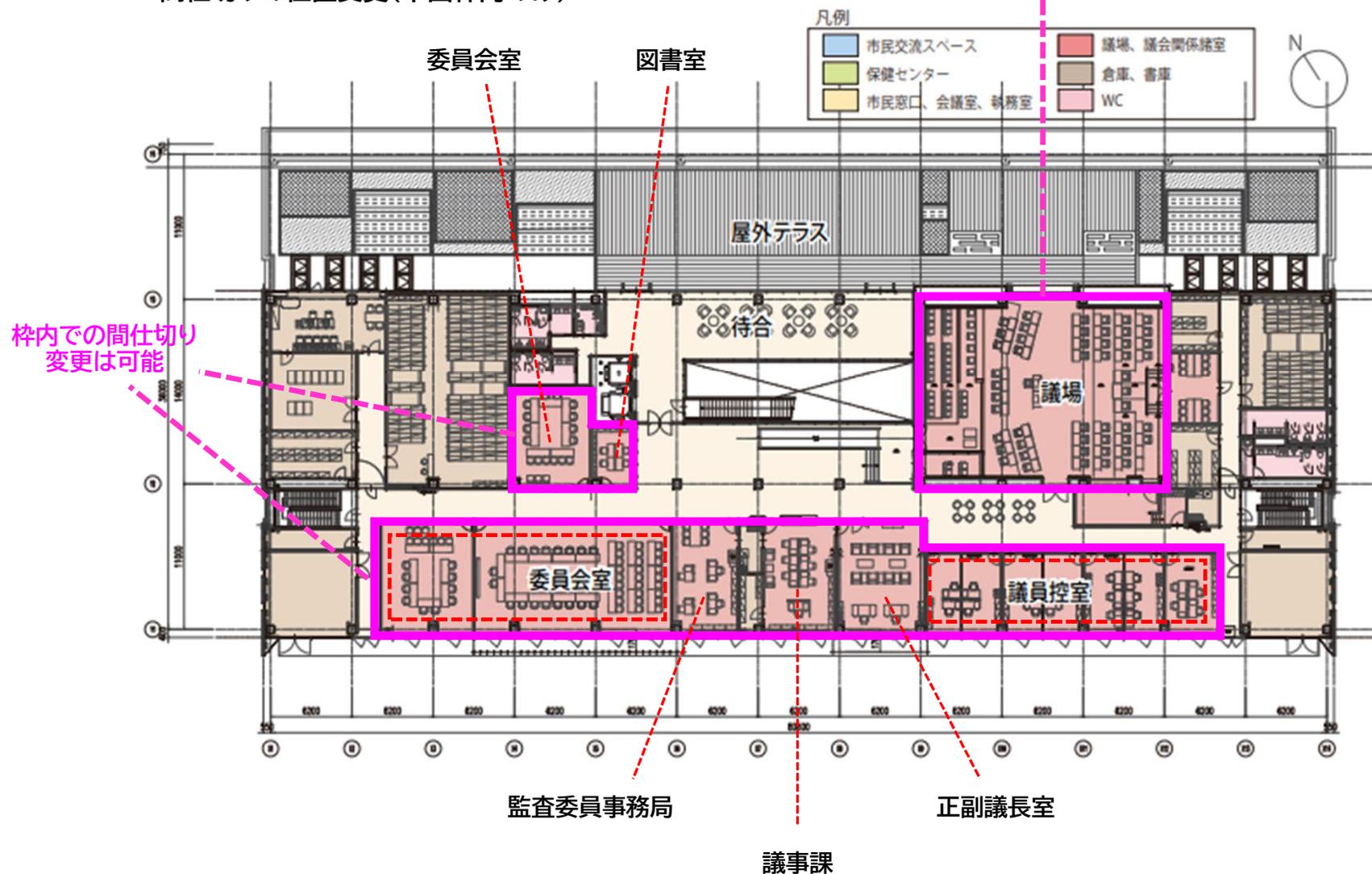
- ・実施設計の修正可能範囲
- ・イメージパース

■実施設計の修正可能範囲

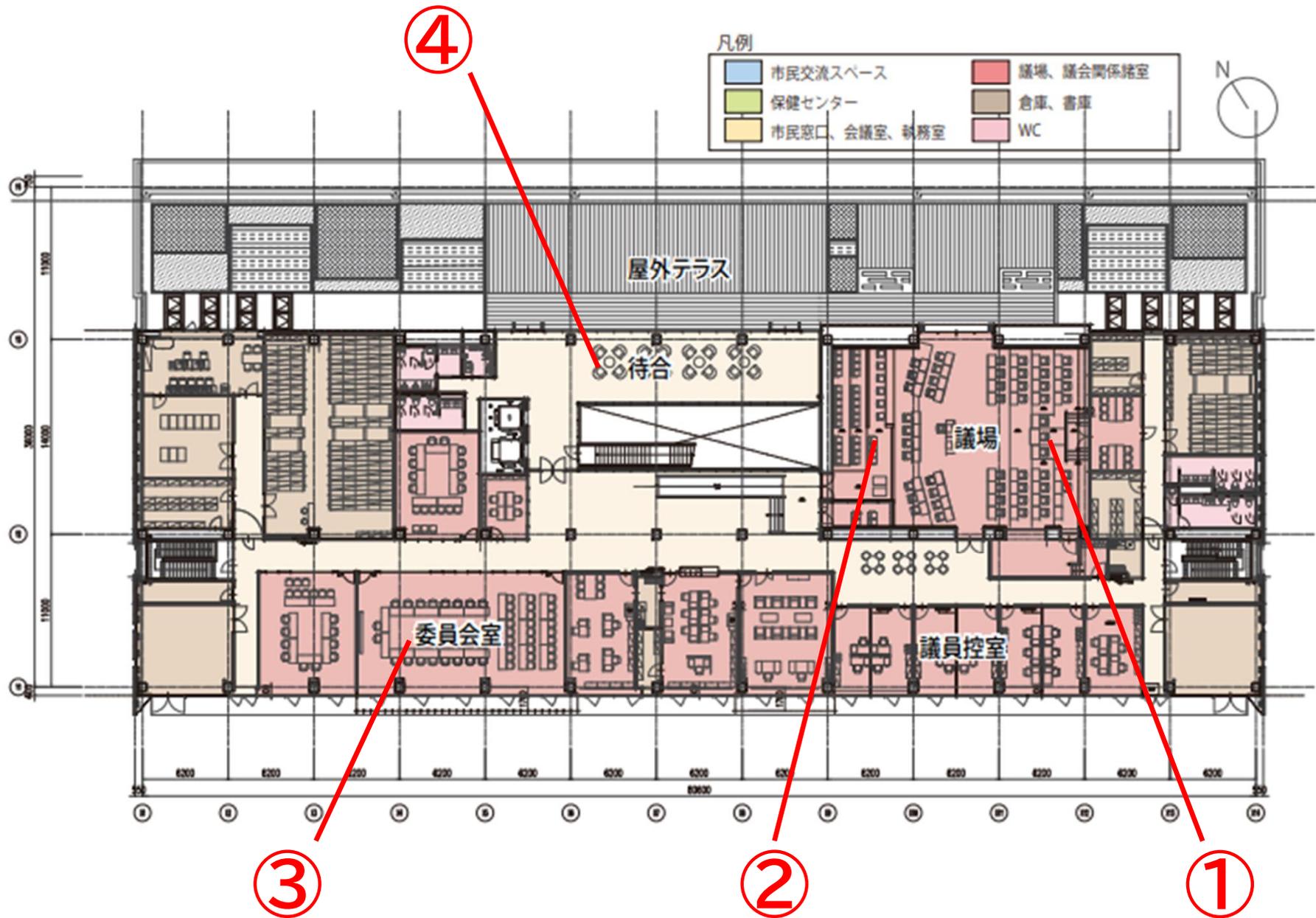
【変更可能な内容】

- ・オフィス家具のレイアウト変更
- ・間仕切りの位置変更(下図枠内のみ)

議場内の
レイアウト変更は可能



■ イメージバースの表示位置



■ イメージパース



【手前:議長席】

①

議場

【手前:傍聴席】

②



③

委員会室

④

待合スペース



■ 様式（新庁舎整備に関する意見聴取）

※下記の記載欄が不足する場合は、適宜、行を追加してください。

(1) 議場スペースについて

	意見	理由
1		
2		

(2) その他（市民交流スペース、執務スペース等）

	意見	理由
1		

（問い合わせ先）

湖南省 管財契約課 庁舎整備室 担当：山元、宮島 TEL:0748-69-5518